

中米カリブの星！エルサルバドルの日本語教師たち

「エルサルバドルに行っていた」というと、必ず多くの日本人に「えっ？それどこ？」と尋ねられます。しかし、エルサルバドルでは、私が日本人だとわかると「初めて日本人に会った！！」と喜ばれ、子供たちからも「ゴクウ！」と声をかけられ、日本語を知らなくても、日本のことを知っている多くの人たちに出会いました。治安が悪いと言われながらも、私はエルサルバドル中を遊びまわり、日本と同じように飲んでも危ない目に一度も遭うことはありませんでした。そこでは、朝起きて、仕事や学校に行って、家族や友人と楽しい時間を過ごし、夜眠りにつく—そんな当たり前の生活が当たり前にありました。私はその仲間に入れてもらい、日本ではできない多くのことを、たくさんの人に支えられながら、楽しく体験させてもらいました。ここでその一部を紹介させていただきたいと思います。

私が JICA の海外青年協力隊として派遣されたのは、首都にあるUCAという一番大きい私立大学で、卒業生には大統領などもいて、優秀で裕福な学生が集まっていました。あまりきらびやかな恰好をしてはいけなと言われていたのですが、校内では私が一番みすぼらしいのでは？と思うほど、おしゃれで素敵な学生達が大学生活を謳歌していました。その大学内にある付属の言語学校が私の配属先です。



日本文化祭後の記念撮影
～お揃いの T シャツを着て～

さて、日本人もあまり知らないような国で、どうして日本語を勉強したい人がいるのでしょうか？その当時はエルサルバドルには日系企業は一つもありませんでした。日本人は大使館、JICA関係者、そしてエルサルバドル人の配偶者がいる人たちのみだったように記憶しています。だから、日本語を身につけても、就職などには全く役に立ちません。日本人もほとんどい

ないから、使う機会もほとんどありません。でも、安いとは言えない授業料を払って、日本語を学びたいという学生がとても多くいました。ほとんどの学生たちはアニメがきっかけで、日本のことをもっと知りたい、話せるようになりたい、日本が好き！と授業に通っていました。そんな気持ちを持ち続けて、日本語の勉強を何年も続け、仕事になる唯一の道が、日本語教師でした。日本語教師は日本語学習者の星！と言っても過言ではありません。私の任務はそんな先生たちを助けて学生を増やし、安定した仕事にし、そしてまた学生を増やしていくというよいサイクルを生み出すことでした。

現地の先生たちはとてもやる気、能力のある素晴らしい人たちでした。毎日の授業をしながら、自分自身の勉強も熱心に行っています。スピーチ大会や文化祭など、授業以外のイベントがどんどん盛り込まれます。しかし、そこには賃金が発生しないので、もちろんボランティアで働かなければなりません。それでも学生たちのことを思い、一緒に準備に励んでくれました。そんなとき、毎年米カリブ地域の日本語教師が集まるセミナーが行われていることを知りました。参加準備中、先生たちから、「先生、次はぜひエルサルバドルでやりたい！」という申し出がありました。実は開催国になることは簡単ではないので、なかなか次の開催国が決まらなくて困っていたということを聞いていました。しかし、自分たちがやらなければ誰がやる！という意欲を見せ、開催時には次の開催国が決まっているという喜ばしい異例事態の中、第5回中米カリブ日本語教育セミナーがエルサルバドルで開かれる運びとなりました。準備は本当に大変でした。書き出すと紙面には収まらないので割愛しますが、事務的

な手続きが本当に煩雑で、大使館、JICA、大学の協力がなければ進まないことが多々ありました。しかしそれでもめげずに先生たちは準備に取り組み、素晴らしいセミナーを開くことができました。おそらく現地人の先生が全面に前に出て、取り組んだ最初のセミナーだったと思います。セミナー後、ある先生の言葉が今でも心に残っています。「私は人生の中でこ



中米カリブ日本語教師セミナーに参加した先生たちと
在エルサルバドル日本大使館訪問

んなに大変なことをしたことはありません！でもとても素晴らしい経験で、忘れることはありません！手伝ってくれてありがとうございました！」そしてなんと去年、第10回の中米カリブ日本語教育セミナーが再びエルサルバドルで行われ、今年も連続してエルサルバドルで開催されるということを耳にしました。本当に頭が下がる思いと共に、先生方の成長を心よりうれしく感じました。今、エルサルバドルの先生たちは中米カリブ地域の日本語教師の星なのだと思います。

これからも、彼らのような先生になりたい！と日本語教師を目指して日本語を楽しく勉強し続けてくれる学生が増えることを願っています。そして、一日も早く国が安定して、国費留学生という限られた道だけでなく、私費留学生として、多くの学生が日本に学びに来てくれることを切に切に願っています。

三觜由里子(みつはしゆりこ)氏

2011年から2013年までJICAの海外青年協力隊の日本語教師として派遣。

現在は横浜にある日本語学校に勤務。